

幼保一元化検討委員会 3月議会に提言

『新しい幼稚園と保育園のあり方』

この3月議会で、幼保一元化検討委員会より「大垣市の『新しい幼稚園と保育園のあり方』について」という提言が出され、学校幼稚園と言われる公立幼稚園と保育園を統合して“幼保園”にする「幼保一元化将来構想（案）」が提案されました。今回は、この内容についてお知らせします。

とに区分して、両部門の在籍児について保育の一元化と取り入れ保育の流れを組み立てる

幼保園に期待できること

「0歳から、あるいは3歳から就学前までの生育を一貫して見ることができ」「職員は発達段階を押えた指導ができ、保育内容の質的向上が期待できる」

大垣市の幼保一元化（幼保園）とは

幼保園がめざす機能

「保育園と幼稚園の施設の共用化や保育内容の整合性にとどまらず、保育園児、幼稚園児と分け隔てることなく、同じ就学前園児である幼保園児として、同質で同様の保育と幼児教育を保障するもの」となっています。

幼保園の形態

- 運営管理は一人の園長のもと
- 保育者の資格は幼稚園教諭と保育士の両資格を有するもの
- 短時間保育利用児（幼稚園制度による3～5歳児）と長時間保育利用児（保育所制度による0～5歳児）との併設型
- 3歳児～5歳児の短時間保育利用児と長時間保育利用児それぞれの園児を年齢別の学級編成による合同保育
- 保育時間は短時間保育利用児と長時間保育利用児

幼保園に向けての課題と対応

保育料・・・長時間保育を利用する場合は保育園の保育料、短時間保育の利用者は幼稚園の保育料に合わせる。保育時間に合わせて保育料を設定。

給食と給食費の考え方・・・既存の調理室を活用し、短時間保育利用児も施設内で調理した同一メニューの給食を提供。給食費は長時間保育利用児は保育料に含まれるが、短時間利用児は幼稚園の給食費と同額負担。

職員配置・・・児童福祉施設最低基準と幼稚園設置

参考 職員配置基準（保育者1人に対する園児

	3歳児	4歳児	5歳児
保育園	20人	30人	30人
幼稚園	25人	30人	35人

幼稚園と保育園の再編 幼保一元化将来構想（案）

少子化傾向が続くなか、現在あわせて46園ある幼稚園・保育園をこのまま維持していくことは困難と、幼保一元化にあわせて施設の再編成を行った将来構想案（裏面）が出されました。

そして、その再編成は主に公立幼稚園と公立保育園の統合や公立幼稚園と民間保育園の統合による幼保園化などで、現行46園（公立33園、民間13園）を将来計画では29園（公立14園、民間15園）

以上が、今回出された提言です。長年実施されてきた大垣方式の保育・幼児教育体制（3・4歳児は保育園、5歳児は幼稚園）の問題点や留守家庭児童教室の問題点を是正する点で評価できる一方、民営化推進について不安の声もあります。

制度を大きく変更するには、保護者や地域の人々の理解が前提で、そのためには、その地域の保育・幼児教育体制がどうなっていくのか、

疑問やご意見がありましたら、是非お寄せください



幼保一元化問題 座談会のお知らせ

日時：4月10日（土）午前10時～12時

場所：赤星ふれあいハウス